

福岡医発第554号(地)

平成19年6月29日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 横倉 義武
(公印省略)

産業医学振興財団が実施する「産業保健関係者に対する感染症対策に関する研修会」
について

産業医学振興財団において、厚生労働省より委託を受け、産業医及び産業保健関係者等を対象に標記研修会を開催する旨、別紙のとおり周知依頼がありましたので会員各位への周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、本研修は生涯研修(専門)3単位のための研修となります。

記

※福岡会場

1. と き：平成19年7月26日(木) 14:00～17:20

2. ところ：博多エクセルホテル東急

3. 申込方法

インターネット(<http://www.zsisz.or.jp>)又はFAX(別紙申込書に必要事項を記入)でお申し込み下さい。

4. 申込期限・募集定員

募集定員(100名)まで開催7日前を申込期限として先着順にて申込受理されます。

なお、定員に達しない場合は開催当日の会場でも受け付けられますので、産業医学振興財団へご確認下さい。

5. 日医認定産業医制度研修単位

生涯研修(専門研修)3単位



小郡三井医師会より

担当理事 毛利康茂



産医振発第 74 号
平成19年4月20日

福岡県医師会
会長 横倉 義武 殿

財団法人 産業医学振興財団
理事長 若林 之矩



「産業保健関係者に対する感染症対策に関する研修会」の
開催に係るご協力依頼について

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当財団の事業運営につきましては、平素より格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、我が国のC型肝炎の持続感染者は150～200万人存在すると推定されていますが、自分自身の感染の自覚がない者が多く、感染者の中から肝硬変や肝がんへ移行する者があると言われています。

このようなことから、厚生労働省は、各種のC型肝炎対策を講じておりますが、中でも職場におけるウイルス肝炎対策としては、正しい知識の普及とともに、労働者が職場での健康診断などの機会を通じて自らの感染の状況を把握し、必要な医療や相談指導を受けられる機会を拡大することが重要とされております。

他方、近年の高病原性インフルエンザ（H5N1）の世界的な流行、散発的なヒトの感染発症の継続から、次の新型インフルエンザの出現が強く懸念されています。

世界保健機構（WHO）の発表によれば、2003年11月以降の高病原性インフルエンザの患者の発生状況は、2007年3月20日現在で、発生国12か国、患者数281人（死亡者169人）となっています。

我が国では平成18年6月に「インフルエンザウイルスガイドライン—フェーズ3—」を示しており、さらに平成19年3月にフェーズ4以降について13のガイドラインを策定しており、新型インフルエンザは個人又は企業などが十分な知識と自覚を持ち自らの問題として対策を講じることが重要とされております。

このため、当財団では、別紙案内のとおり厚生労働省の委託を受け、産業医及び産業保健関係者等を対象といたします、職場におけるこれらの感染症対策を同時に実施する標記の研修会を開催することと致しました。

つきましては、本研修会が円滑に開催できますよう、研修会の広報等に関して貴職の特段のご配慮をお願い申し上げます。

なお、本研修会の開催について、各地域産業保健センター長に対するご協力を、別にご依頼することといたしておりますので、申し添えます。



産業保健関係者に対する感染症対策に関する研修会のご案内

主 催 (財)産業医学振興財団

対 象 産業医・保健師等産業保健関係者及び企業の衛生管理者・人事労務担当者等

わが国のC型肝炎の持続感染者は、150万人から200万人存在すると推定されていますが、自分自身の感染の自覚がない者が多く、感染者の中から肝硬変や肝がんへ移行するものがあると言われております。こうした状況の中、厚生労働省は、必要な普及啓発やスクリーニング検査体制の充実、高感染率集団への対応などの総合的な対策を推し進めているところです。

職場におけるウイルス肝炎対策としては、感染者がプライバシーの保護や就業上の取り扱いを含め、不当に不利益な扱いを受けることのないことはもとより、労働者が職場での健康診断など様々な機会を通じて自らの感染の状況を把握し、必要な医療や相談指導を受けることができるような機会の拡大が求められています。

他方、近年の高病原性インフルエンザ(H5N1)の世界的な流行、散発的なヒトの感染発症の継続から、次の新型インフルエンザの出現が強く懸念されています。

世界保健機構(WHO)の発表によれば、2003年11月以降の高病原性インフルエンザの患者の発生状況は、2007年3月20日現在で、発生国12か国、患者数281人(死亡者169人)となっています。

我が国では平成18年6月に「インフルエンザウイルスガイドラインフェーズ3」を示しており、さらに平成19年3月にフェーズ4以降について13のガイドラインを策定しております。新型インフルエンザは個人又は企業などが十分な知識と自覚を持ち自らの問題として対策を講じることが重要とされております。

このため、(財)産業医学振興財団では、以上の対策の推進を図ることを目的として、産業医、保健師等の産業保健関係者、企業の衛生管理者及び人事労務担当者を対象に、「産業保健関係者に対する感染症対策に関する研修会」を開催することといたしましたので、ご案内申し上げます。

定 員 各会場100名程度

参加費 無料 なお、この研修会は日本医師会認定産業医制度における指定研修会として申請中です(生涯研修(専門研修)3単位)。

開催日・会場

東京会場	平成19年 8月 2日(木)	芝パークホテル
名古屋会場	平成19年 8月30日(木)	キャッスルプラザ
大阪会場	平成19年 8月 9日(木)	三井アーバンホテル大阪
福岡会場	平成19年 7月26日(木)	博多エクセルホテル東急

講習時間・内容

- 14:00～14:10 開講挨拶 開催地の都府県労働局
 14:10～15:40 職場におけるウイルス肝炎対策
 (－B型・C型肝炎の正しい理解と対処のために－)
 15:40～15:50 休憩
 15:50～17:20 海外派遣労働者の感染症対策の実際
 (鳥インフルエンザ・新型インフルエンザ等の感染症対策の実際)

申込方法

- ◎ インターネット (<http://www.zsisz.or.jp>) 又は F A X (下記の申込書に必要事項を記入)でお申し込み下さい。
 ◎ 受講予定者には、各会場とも開催日の約7日前に別途「受講票」をお送りしますので、連絡先の住所、氏名(ふりがな)は正確にご記入下さい。

申込期限・募集定員

- ◎ 各会場ごとに募集定員(100名)まで各会場開催7日前を申込期限として先着順に申込受理いたします。なお定員に達しない場合は開催当日の会場でも受け付けますので財団までご確認ください。

その他

- ◎ 駐車場は、ご用意出来ませんのでご注意ください。

お申込み・お問合せ先

財団法人 産業医学振興財団 企画課
 〒107-0052 東京都港区赤坂2-5-1 東邦ビル3階
 TEL 03-3584-5421 FAX 03-3584-5426

.....
産業保健関係者に対する感染症対策に関する研修会申込書

受講者氏名			性別	男・女	年齢	
職 業 (○印)	医師(産業医) 人事・労務	保健師 その他	看護師	衛生管理者		
連 絡 先	〒 - 住所					
	事業場名 所 属		T E L F A X			
会 場 (○印)	1 東京 8月2日	2 名古屋 8月30日	3 大阪 8月9日	4 福岡 7月26日		